

JIS

転がり軸受－製品の幾何特性仕様（GPS） 及び公差値－第 2 部：スラスト軸受

JIS B 1514-2 : 2017
(ISO 199 : 2014)
(JBIA)

平成 29 年 9 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 増 潔	東京大学
(委員)	浅 井 邦 裕	オーエスジー株式会社
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊 藤 和 巳	KYB 株式会社
	川 井 謙 一	横浜国立大学名誉教授
	渋谷 眞 人	東京工芸大学
	菅 谷 功	株式会社ニコン
	田 邊 義 和	株式会社トヨシマ
	平 井 亜紀子	国立研究開発法人産業技術総合研究所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.9.20 改正：平成 29.9.20

官 報 公 示：平成 29.9.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ベアリング工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3433-0926)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 高増 潔)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 記号	2
5 許容差及び許容値	5
5.1 一般	5
5.2 等級 0 級	6
5.3 等級 6 級	8
5.4 等級 5 級	10
5.5 等級 4 級	12
附属書 A (参考) GPS 概念に基づく説明と旧規格の量記号及び用語との比較	13
附属書 B (参考) スラスト軸受の寸法仕様及び幾何仕様の図示例	14
附属書 C (参考) JIS B 1515-1 の従来用語と GPS 概念に基づく JIS B 0420-1 の用語との比較	16
附属書 D (参考) 長さに関わるサイズの指定条件についての図による説明	19
参考文献	26
解 説	27

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ベアリング工業会（JBIA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 1514-2:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS B 1514 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS B 1514-1 製品の幾何特性仕様（GPS）及び公差値－第 1 部：ラジアル軸受

JIS B 1514-2 製品の幾何特性仕様（GPS）及び公差値－第 2 部：スラスト軸受

JIS B 1514-3 軸受の公差－第 3 部：面取寸法の最大値

転がり軸受—製品の幾何特性仕様 (GPS) 及び 公差値—第 2 部：スラスト軸受

Rolling bearings—Geometrical product specifications (GPS) and tolerance values—Part 2: Thrust bearings

序文

この規格は、2014 年に第 4 版として発行された **ISO 199** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、スラスト軸受（以下、軸受という。）のはめあい部分及び背面部分（面取部を除く。）の、寸法特性及び幾何特性の適用箇所、並びに許容差及び許容値を規定する。呼び主要寸法は、**JIS B 1512-2** による。また、面取寸法の最大値は、**JIS B 1514-3** による。

この規格は、次の軸受には適用しない。

- スラスト針状ころ軸受
- 計器用精密スラスト軸受

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 199:2014, Rolling bearings—Thrust bearings—Geometrical product specification (GPS) and tolerance values (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0104 転がり軸受用語

注記 対応国際規格：**ISO 5593**, Rolling bearings—Vocabulary (IDT)

JIS B 0420-1:2016 製品の幾何特性仕様 (GPS) —寸法の公差表示方式—第 1 部：長さに関わるサイズ

注記 対応国際規格：**ISO 14405-1:2010**, Geometrical product specifications (GPS)—Dimensional tolerancing—Part 1: Linear sizes (MOD)

JIS B 1512-2 転がり軸受—主要寸法—第 2 部：平面座スラスト軸受